

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

					No.	11-026	
PDCA	事務事業名	知多半田駅前再開発ビル商業施設支援事業	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当	担当	赤坂	
					内線等	321	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 4. 商工業・サービス業 単位施策： (2) 接続可能な商業の振興 個別施策： ③中心市街地の商業の魅力創出					
	根拠法令等	半田市知多半田駅前再開発ビル商業施設利用促進補助金交付要綱					
	対象・目的	知多半田駅前再開発事業の核施設であるクラシティの商業施設の利用者を増やし、お客様が商業施設を利用するにあたって利用しやすい環境を整えるため、駐車場の利用料金の補助及び商業施設の利用促進に繋がる事業について補助し、賑わいづくりを支援する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	クラシティの商業施設を利用した者の駐車場料金は、平成30年度までは1時間を超え2時間以内であったが、平成31年度からは0時間超え2時間以内に拡大し、駐車場利用に係る使用料の2分の1を補助するとともに、商業施設の利用促進に繋がる事業の経費を補助する。また、クラシティの修繕積立金を負担する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①駐車場利用台数うち補助対象利用台数	19,831	18,718	115,799	台	
		②駐車場利用台数	185,016	176,675	199,329	台	
		事業費	2,465	2,684	6,188	千円	
		人件費	1,269	1,249	1,553	千円	
		総事業費	3,734	3,933	3,933	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	80.0	80.0	80.0	%
			目標値	100.0	100.0	100.0	
			実績値				
			目標値				
			実績値				
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある
	事業の評価・課題	C 従来の駐車場1～2時間の利用者料金補助に加え、商業施設が負担していた0～1時間の料金を一部補助することで、商業施設への支援強化を図った。ビストロクラシティでは新しい取組として健康マージャンを催し、高齢者から好評を得て集客があった。今後も新たな取組を試み、施設の魅力を集客につなげることが課題である。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う商業施設の閉鎖や外出自粛に伴い落ち込んだ消費を復活させるため、テナント支援の強化を図る。商業施設活性化事業と併せて、引き続き支援することで、施設の利用促進を図る。				
		令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①クラシティの商業施設のテナントの充足率	100.0	%		